

日蘭水シンポジウム 2009 in ぎふ

～迫り来る巨大水害にどう対応するか？日蘭の経験を基に～

地球温暖化によって生じる可能性が高いとされている巨大水害への対策は、日蘭共通の課題となっており、日本では海面上昇と異常豪雨などの研究・対策が進められています。一方、オランダでは50年後の海面上昇を見越して高潮壁が建設されるなど具体的な対策が行われています。そこで、水害対策と地球温暖化対策についての両国の知見と経験を交換するため、オランダの平戸商館開設400周年、また岐阜県を始めとした東海地方に甚大な被害をもたらした伊勢湾台風から50年にあたる本年、オランダ人技師デレーケが木曾三川分流工事を完成させた海拔ゼロメートル地帯を有する岐阜県の西濃地域において、日蘭水シンポジウムを開催します。

日時 2009年6月26日(金) 14:00～17:30

会場 ソフトピアジャパン1階 セミナーホール

言語 英語(日英同時通訳付)

【プログラム】

13:15～ 開場

14:00～14:15 挨拶：岐阜県知事
中日新聞社代表
日本国際問題研究所代表

14:15～14:35 基調講演：

フィリップ・ドゥ・ヘーア 駐日オランダ王国大使

14:35～14:55

講演：「水管理における日蘭の歴史的関係」
ベルト・トゥッサン オランダ交通・公共事業・水管理省 歴史顧問

14:55～17:15 パネルディスカッション

<コーディネーター>

志村 清一 中日新聞論説室論説主幹

<パネリスト>

大木 浩 全国地球温暖化防止活動推進センター代表

コース・ウィーリックス オランダ国立水管理委員会委員長

辻本 哲郎 名古屋大学大学院教授

トワン・スミッツ オランダ Nijmegen 大学教授

小川 敏 大垣市長

小島 敏郎 青山学院大学国際政治経済学部教授

17:15～17:30 質疑応答

【会場所在地】

〒150-0012 岐阜県大垣市加賀野4丁目1番地の7
ソフトピアジャパン1階 セミナーホール

TEL: 0584-77-1122(代) <http://www.softopia.info/>



【アクセス方法】

- ・JR 東海道線 大垣駅から車で5分
バスで約10分(大垣駅南口3番乗場)
(大垣～名古屋間 快速で約29分)
- ・JR 東海道新幹線 岐阜羽島駅から車で約15分、
バスで約20分

共催：財団法人日本国際問題研究所、岐阜県、大垣市、中日新聞社

後援：駐日オランダ王国大使館、国土交通省中部地方整備局

助成：日本財団、国際交流基金、財団法人大垣国際交流協会

プロフィール

■ Philip de Heer (フィリップ・ドゥ・ヘーア)

駐日オランダ王国大使

1987年ライデン大学にて中国研究学博士号取得。欧州統合局審議官、政務局審議官、女王陛下首席秘書官、アジア大洋州局長、在中国大使館大使、外務事務次官を経て、2008年8月より現職。

■ Bert Toussaint (ベルト・トゥッサン)

オランダ交通・公共事業・水管理省 歴史顧問

1985年ライデン大学にて歴史学修士号取得。その後20世紀のライデン市における社会賃貸住宅政策・工業化政策に関する研究・出版に携わり、1991年よりオランダ交通・公共事業・水管理省にて勤務。1993年よりフリーランスの歴史研究者として活躍する傍ら、歴史専門出版社コンサルタントを務め、2000年より現職。

■ 志村 清一 (しむら きよかず)

中日新聞論説室論説主幹

早稲田大学卒業後、中日新聞入社。大津支局、長野支局で勤務後、名古屋本社社会部に、事件事故をはじめ地方行政、連載企画の取材を担当。1991年よりカイロ特派員として、湾岸戦争後の中東情勢や、飢餓に苦しむアフリカ各国の報道に携わる。その後、名古屋本社に戻り、論説委員、社会部長、編集局次長を経て、2006年10月より現職。

■ 大木 浩 (おおき ひろし)

全国地球温暖化防止活動推進センター代表

東京大学法学部卒業後、外務省入省。ワシントン、ベオグラード、ジュネーブに在勤し、官房参事官、在ホノルル日本国総領事等を歴任。1980年に参議院議員に当選し、1997年には国務大臣環境庁長官。同年の国連機構変動枠組条約第3回締約国会議の議長を務める。環境大臣を経て、2004年4月より現職。

■ Koos Wieriks (コース・ウィーリックス)

オランダ国立水管理委員会委員長

1980年デルフト工科大学にて土木工学修士号取得。デルフト工科大学にて研究員として勤務後、オランダ交通・公共事業・水管理省にて環境局調整役、海洋利用局局长、ライン川汚染防止国際委員会委員長を務める。インドネシア公共事業省水利管理局相談役、オランダ交通・公共事業・水管理省にて環境局調整役、海洋利用局局长、ライン川汚

染防止国際委員会委員長を務める。インドネシア公共事業省水利管理局相談役、オランダ交通・公共事業・水管理省政策顧問を経て、2006年1月より現職。アチェ津波復興支援事業にも携わった経験を持つ。

■ 辻本 哲郎 (つじもと てつろう)

名古屋大学大学院教授

1979年京都大学にて工学博士取得。金沢大学工学部在勤中、1987年3月より1年間スイス連邦工科大学ローザンヌ校招聘教授として勤務。1997年より名古屋大学大学院工学研究科助教授、2002年4月より2005年3月まで東京大学工学系研究科教授を併任し1998年12月より現職。

■ Toine Smits (トワン・スミッツ)

ナイメーヘン大学教授 (オランダ)

1994年ラドバウド・ナイメーヘン大学で博士号を取得。オランダ交通・公共事業・水管理省所属 RIZA 研究所研究員、同省におけるヘルデルラント州担当顧問、戦略的環境・国土計画局局长、上級政策顧問を務め、治水対策、持続可能な水資源の開発・管理能力強化等に尽力した。エラスムス大学教授、ラドバウド・ナイメーヘン大学教授兼同大学水と社会研究センター (The Centre for Water and Society) 共同議長を経て、現在に至る。

■ 小川 敏 (おがわ びん)

大垣市長

東京大学法学部卒業後、伊藤忠商事株式会社勤務。1980年に地元大垣市に戻り、家業に従事する傍ら、青年団体活動やPTA活動にも意欲的に取り組む。2001年4月に大垣市長に就任。3期目の現在、「ダイナミックシティ大垣の創造から進展へ」を政策目標に掲げ、市民協働による「循環型社会づくり」や、安心して子育てができる「子育て日本一のまちづくり」などに積極的に取り組む。

■ 小島 敏郎 (こじま としろう)

青山学院大学国際政治経済学部教授

東京大学法学部卒業後、環境庁入省。入庁後は公害健康被害の救済業務に携わり、「公害健康被害補償法」改正、水俣病の政治解決、「環境基本法」など主要な法律の制定に尽力した。2002年～03年にかけて英国王立国際問題研究所客員研究員として勤務し、帰国後は地球環境局長、地球環境審議官を歴任。機構変動枠組条約など地球環境問題に関する国際諸問題を担当した。2008年環境省退官後、財団法人地球環境戦略研究機関特別顧問を経て、2009年4月より現職。

参加申込書

FAX 058-278-2603 (岐阜県国際課内)

日蘭水シンポジウム 2009 in ぎふ

～迫りくる巨大水害にどう対応するか？日蘭の経験を基に～

日蘭水シンポジウム事務局 宛

(フリガナ)

ご芳名 (代表者) _____ ご所属・お役職 _____

(フリガナ)

ご芳名 (その他参加者) _____ ご所属・お役職 _____

(フリガナ)

ご芳名 (その他参加者) _____ ご所属・お役職 _____

代表者ご連絡先 (TEL/FAX) _____ (e-mail address) _____

参加申込み方法

別添の参加申込書にご記入の上、ファックスまたは E-mail にて 6月22日(月)までにお申込み下さい。

尚、会場スペースの関係により、定員に達した場合は締め切らせていただく場合がございますので、予めご了承下さい。

申し込みに関する問い合わせ先：

岐阜県国際課 (TEL)058-272-8173、(FAX)058-278-2603、(E-mail)c11129@pref.gifu.lg.jp